

ネットアップでデータセンターを クラウドに拡張する 5つの簡単なステップ

IT環境は、ビジネスの成功を支援する最大の要素です。IT環境の整備を適切に行えば、ビジネスを差別化し、進化させ、刷新するためのプラットフォームを構築し、ビジネスとテクノロジのニーズの変化に応じて迅速に方針を転換することができます。今日の環境において「適切に行う」とは、無限の拡張性や、新たな機能の利用機会、限りない柔軟性など、クラウドがもたらしているイノベーションを活用することです。しかし、オンプレミスのリソースとの相互運用性や、一貫性に欠ける管理、監視、コストモデル、ライセンス、ガバナンスプロセス、スキル要件などが理由で対応が複雑になることが不安な場合は、クラウドをどのように活用すればよいのでしょうか。



ネットアップでクラウドを導入し、ハイブリッド マルチクラウドを簡単に実現しましょう。NetApp® ONTAP® データ管理ソフトウェアの革新的なテクノロジにより、すべての主要なパブリック クラウドとオンプレミスで一貫性のあるストレージ プラットフォームを構築し、実績ある業界トップ クラスのデータ サービスを提供します。プラットフォームを標準化することで、同じフレイズとリソースを使用し、NetApp Cloud Managerによる一元的な管理インターフェイスを介して、ハイブリッド マルチクラウド全体のデータとインフラを管理できます。アプリケーションのリファクタリングやワークフローの分断、ベンダー ロックインなどが生じる心配はありません。

ネットアップでハイブリッド マルチクラウドを今すぐ簡単に構築するための5つのステップ*

1 5分以内にハイブリッド クラウドを構築



5分以内にハイブリッド クラウドを構築

ONTAPとCloud Managerを使用して、5分以内にオンプレミス環境を1つまたは複数のパブリック クラウドに拡張し、データとアプリケーションをクラウドに移行することができます。ONTAPはオンプレミスとクラウド上の両方で、同一の機能豊富なエンタープライズクラスのデータ サービスを提供することにより、あらゆる環境の完全な相互運用性を実現し、一貫したデータの保管と管理、保護を可能にします。

2 2分以内にハイブリッド クラウドのバックアップをセットアップ



2分以内にハイブリッド クラウドのバックアップをセットアップ

オンプレミスのデータセンターからパブリック クラウドへセカンドリ データをバックアップし、クラウドからオンラインプレミスへリストアします。クライアント側のユーザ アクセスを目的とした統合データストアを構築します。パブリック クラウドを活用して、1箇所以上のディザスター リカバリ環境を作成します。ONTAPとCloud Managerを使用してクラウドにデータをバックアップすることで、アーキテクチャをほとんど変更することなく、追加リソースを利用して拡張に対応し、格納場所を分散してデータを保護することができます。

3 2分以内にコールド データをクラウドに階層化



2分以内にコールド データをクラウドに階層化

アクセス頻度の低い（コールド）データやアーカイブを、オンプレミスのストレージからクラウド ストレージへ自動的に移動します。コールド データをクラウド階層に移動することで、データセンターの設置面積を占める機器、特にハイパフォーマンスのオールフラッシュ システムを解放し、オンプレミスのインフラ管理の労力とコストを削減することができます。

4 2分以内にデータをクラウドに移行して処理



2分以内にデータをクラウドに移行して処理

データ処理を実行するため、2分以内にオンプレミス環境からクラウドへデータ（またはデータのクローン）を移動、またはクラウド間でデータを移行します。そうすれば、瞬時に利用可能なオンデマンドのクラウド コンピューティング リソースでデータセンターのリソースを補完し、ワーカーに動的かつ柔軟に対応できるようになります。

5 2分以内にデータ セキュリティのガバナンスとコンプライアンスを向上



2分以内にデータ セキュリティのガバナンスとコンプライアンスを向上

わずか数クリックでクラウド上の特定の場所にデータを格納し、データ主権やセキュリティ、コンプライアンスの要件を満たすとともに、データの所在に関係なく、データの可視性、ransomware 対策、ガバナンスに対する一貫したアプローチを実現します。

ネットアップのハイブリッド マルチクラウド
ソリューションの詳細は[こちら](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)